

A37 (三輪・纏向・織田)

【 聖徳太子 創建の寺 】

～ 平等寺 ～



平等寺の起源は、西暦五百八十一年に聖徳太子が賦徒を平定するため三輪明神に祈願し、平定後に十一面観音を彫って大三輪寺を建立したことにあるとされています。中世、近世を通じて実質的な三輪山における中心的な寺として発展してきました。明治の神仏分離令により混乱期を迎えましたが、昭和五十三年に本堂が再建され、「三輪山平等寺」の寺号を掲げました。本尊は十一面観音菩薩で、金屋から大神神社へと続く「山の辺の道」沿いに位置しています。

(桜井市 三輪)